

ふるさと納税に新しいメニューができました

新型コロナウイルス感染症対策寄附金

check

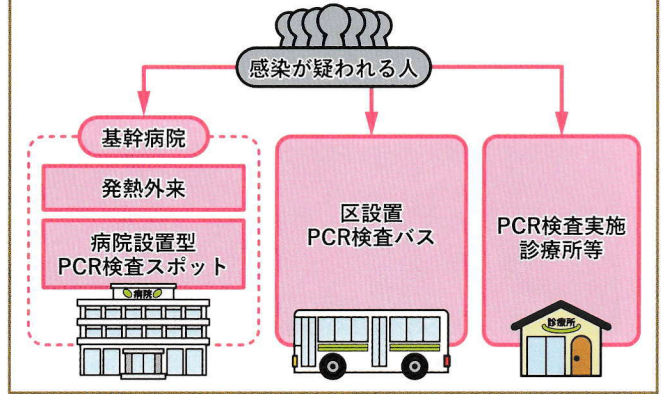
地域の医療崩壊を食い止めたい

杉並区では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため区内の基幹4病院に「発熱外来」を設け、PCR検査を集中して行うことで、地域の診療所を院内感染から守りました。さらに国や都に先駆けて、患者受入れに伴い収入減が予想される基幹病院の経営支援に取組みました。

このような取組に対して、区民をはじめとする皆様から、対策に役立ててほしいとの寄附の申し出をいただき、これを受けて令和2年5月1日にふるさと納税に新メニューを加えました。その後もPCR検査バスの導入や検査を実施する診療所等への支援を進め、皆様が安心して医療を受けられる取組を進めています。

令和2年9月30日現在 件数412件 金額23,518,352円
のご寄附をいただきました。

基幹病院に発熱外来を設置し、地域の診療所と連携して、地域医療を支えています

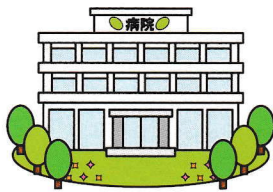


PCR検査のイメージ図

いただいた寄附金は、入院病床の拡充・発熱外来の設置やPCR検査を実施する区内医療機関への支援や、マスク手指消毒剤等の購入経費等に活用します。

※国や都からの補助や支援がない事業・分野への経費に充当していきます。

感染者を受け入れる区内基幹病院への支援



コロナ感染症に立ち向かえば向かうほど経営難の危機に直面する区内の基幹病院を支援します。

発熱外来に従事する医師と検査を実施する診療所への支援



発熱外来を担当する医師を確保するための支援や地域の診療所での院内感染対策を支援し、地域医療の崩壊を防ぎます。

マスク等の備蓄



今後の感染症の拡大及び長期化も想定し、マスク及び手指消毒剤等の備蓄数を増やしていきます。

ご寄附いただいた方の声

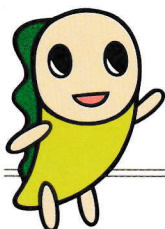
医療関係者をはじめ、社会生活を支えるすべての方々の尽力によって、多くの人の命や暮らし、社会が保持されていることに感謝します。



医療崩壊を防止するための区の実行力はとても素晴らしいと思いました。国や都に先駆けた対策を取ってくれたため、住民としてとても安心しました。



かけがえない命を守るため、日夜奮闘なさっている医療関係者の皆様に感謝し、本当に微力ではありますが気持ちを表したいと思います。



新型コロナウイルスに関する最新情報はこちらでご確認ください

区では、区公式ホームページやツイッターで随時情報をお伝えしています。

